公益社団法人　日本介護福祉士養成施設協会
令和８年度　全国教職員研修会
開催要項〈第2報〉

公益社団法人　日本介護福祉士養成施設協会
九州ブロック会　実行委員一同

地域包括ケアを創る介護福祉士　～多様な場面で創意工夫できる専門職育成～

開催趣旨

我が国では少子高齢化が進展し、地域包括ケアシステムのさらなる推進が求められています。こうした状況の中、介護福祉士には専門的知識や技術に加え、多職種との連携や地域との協働を通して、一人ひとりの生活と尊厳を支える実践力が求められています。また、利用者や家族の多様なニーズに対応しながら、地域共生社会の実現に貢献できる人材の育成が重要となっています。そのため養成施設には、多様化・複雑化する介護ニーズに対応し、さまざまな場面で創意工夫できる専門職を育成することが期待されています。

一方で、介護福祉士養成施設卒業者の国家資格取得に係る経過措置が 2031 年度卒業者まで延長されたことにより、養成施設の役割はこれまで以上に重要性を増しています。近年、養成施設における留学生の割合は増加しており、介護現場を支える貴重な人材として期待が高まっています。その一方で、日本語能力の向上支援、国家試験対策、実習指導、卒業後の定着支援など、養成施設に求められる役割はますます広がっています。

今年度は、九州ブロックが担当ブロックとなり、鹿児島県において開催する運びとなりました。本研修会では、「地域包括ケアを創る介護福祉士　～多様な場面で創意工夫できる専門職育成～」をテーマに掲げ、これからの介護福祉士養成のあり方について考えていきます。

本研修会では、経過措置延長の背景や今後の制度の動向を見据えながら、介護福祉士養成施設が担うべき役割と今後の展望について理解を深めます。また、鹿児島の豊かな自然や地域文化に触れながら、全国の教職員の皆様と相互に学び合い、地域包括ケアを担う介護福祉士の育成、さらには今後の留学生教育のあり方について、あらためて考える機会となれば幸いです。

日　　時	令和８年	10 月 29 日(木)	13:00～17:00 （受付 12:30～）
		10 月 30 日(金)	9:30～11:45 （受付　9:00～）

会　　場　鹿児島サンロイヤルホテル

〒890-8581 鹿児島県鹿児島市与次郎 1-8-10

TEL 099-253-2020

※ 詳細マップ等は、リンク、QR コードよりご覧いただけます。

リンク：鹿児島サンロイヤルホテル【公式】

鹿児島サンロイヤルホテル

開催方法　ハイフレックス方式（対面＋オンライン）

参 加 費

会員（事前申し込み）	参加型	10,000 円	オンライン型 6,000 円
（当日申し込み）	参加型	11,000 円	
非会員	参加型	12,000 円	オンライン型 8,000 円
懇親会（10 月 29 日）	参加費	8,000 円	

☆参加費の振込先（振込み手数料は、参加者のご負担でお願いします）

金融機関名：三井住友銀行（0009） 支店名：霞が関支店（639）

口座種別：普通　　口座番号：6478448

口座名義：公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

懇親会（10月29日）　参加費 8,000 円

☆参加費は、当日会場でお支払いください。

申し込み　【研修会】の申し込みは、

下記 Google フォームまたは右の QR コードよりお申し込みください。

令和 8 年度 全国教職員研修会 参加申込みフォーム

申し込み締め切り：10 月21日（水）　**※受付期間を延長しました。**

研修会申し込み QR コード

【懇親会】の申し込みは、

下記 Google フォームまたは QR コードよりお申し込みください。

同会場で情報交換として懇親会を開催いたします。ご参加をお待ちしております。

令和 8 年度 全国教職員研修会 鹿児島県大会 懇親会参加フォーム

申し込み締め切り：10 月16日（金）

※【研修会】の申し込みフォームと、【懇親会】の申し込みフォームが異なりますので、ご注意ください。

懇親会申し込み QR コード

主　　催　公益社団法人　日本介護福祉士養成施設協会

主　　管　日本介護福祉士養成施設協会　九州ブロック会
後　　援　厚生労働省（予定）
公益社団法人　全国老人福祉施設協議会
公益社団法人　全国老人保健施設協会
公益社団法人　日本介護福祉士会
鹿児島県（予定）、鹿児島市、鹿児島県社会福祉協議会

研修内容

参加される皆様と介護福祉士養成の現状と課題を共有し、課題解決に向けて継続して取り組むことができる内容となるよう、現在準備を進めております。

また、本研修会は皆様からご意見を頂戴するだけでなく、教員同士の親睦やネットワーク構築の一助となる貴重な機会でもありますので、可能な限り対面での参加をご検討いただければ幸いです。

〈 研修１日目 〉　会場：１階［エトワール］

研修プログラム	
時間	内容
12:30～13:00	受付
13:00～13:20	開会式 主催者挨拶 日本介護福祉士養成施設協会　会長　澤田　豊 実行委員長挨拶 日本介護福祉士養成施設協会　副会長・九州ブロック代表理事 福岡介護福祉専門学校　学校長　小笠原　靖治 来賓挨拶 日本介護福祉士会　会長　今村　文典　氏
13:20～14:00	行政説明（厚生労働省より） 演題・講師は調整中
14:10～15:10	基調講演 テーマ「地域包括ケアを創る介護福祉士～多様な場面で創意工夫できる専門職育成～」 講師：鹿児島県介護福祉士会　会長　田中　安平　氏
15:20～16:50	シンポジウム テーマ「外国人留学生に対する国家試験指導のあり方」

	進行：日本介護福祉士養成施設協会　副会長 福岡介護福祉専門学校　学校長　小笠原　靖治　氏 シンポジスト： 元一般社団法人　国際交流＆日本語支援Ｙ 代表理事　橋本　由紀江　氏 平岡介護福祉専門学校　学校長　真子　菜穂子　氏
16:50～17:00	諸連絡　等
18:00～	懇親会　同会場(鹿児島サンロイヤルホテル)2階［開聞］ 上記　親睦会参加フォームで案内

〈 研修２日目 〉　会場：１階［エトワール］、3階［マーガレット］［嵐山］

研修プログラム	
時間	内容
9:00～9:30	受付
9:30～11:20	分科会(案) 第１分科会　テーマ 「地域包括ケア･地域を支える介護福祉士を育てる」 第２分科会　テーマ 「外国人留学生を国家試験合格へ導くための支援 ～養成校だからできる実践と工夫～」 第３分科会　テーマ 「福祉防災を担う介護福祉士の育成 ～災害想定ゲーム『KIZUKI』で BCP を実践的に学ぶ～」
11:30～12:00	閉会式 閉会挨拶　教育力向上委員会委員長　井之上　芳雄　氏

基調講演

テーマ「地域包括ケアを創る介護福祉士 ～多様な場面で創意工夫できる専門職育成～」
講師 ： 田中 安平 氏　　鹿児島県介護福祉士会 会長

介護福祉士の勤務する現場は、大きく分けて施設・在宅の2分野に分かれる。それが更に高齢現場・医療現場・障害現場等々に分かれ、実に多種多様な実践現場がある。

そのうえ、今日ではそれらが独立して存在しているのではなく、地域包括ケアの名のもと、様々な地域の一員として属しているのである。もとより地域福祉という概念のもと、施設は地域の中にあるべきだと叫ばれていたのだが、それらの施設を包括的に関連付けて捉え直したのが地域包括ケアである。

養成校で学ぶ学生にこれら地域文化を理解させようとして困難になるのが、主体としての学生の地域文化との乖離である。ゆとり教育の廃止に伴い、小中の学生時代に高齢者施設や障害者施設等を訪れ、利用者の方々と何らかの接触・コミュニケーションをとってきた経験のある学生は少ない。今日ではコロナ禍がさらなる拍車をかけている。

まして、夏・冬休みの期間に1泊二日、2泊三日の泊まり込みボランティア等を経験してきたことのある学生となると、皆無に近いのが実情である。

20 年前の教員時代、多くの学生がハタキを知らなかったように、掃除機の使い方さえ知らない学生がいることも念頭に入れた教育方法を考慮する必要がある。

なぜなら、生活支援とは言っても学生の思い描く生活と、利用者の思い描く生活には大いなる差異があるのである。創意工夫が待たれる所以である。

介護福祉士が誕生して 40 年。主婦なら誰でもできる的な寮母時代から福祉寮母を経て、介護福祉士という国家資格がどのような過程を経て誕生してきたのか。さらには、当時のあれほどの熱量がなぜなくなってきたのかも含めて、プロフィールに記載した 4 つの立場からお話いたします。

プロフィール

1976 年　特別養護老人ホームひまわり療護園寮母職として勤務（～1990）
1977 年　社会福祉主事研修修了後寮母長となる
1985 年　季刊誌「老人福祉」・月刊誌「老人生活研究」に投稿開始
1990 年　特別養護老人ホーム翠泉園寮母長・相談員・事務長職兼務（～1995）
1992 年　佛教大学社会福祉学科編入学・卒業（1994）
　　鹿児島県介護福祉士会初代会長（～1999）
1993 年　川内医師会立看護専門学校にて老人福祉論非常勤講師（～1995）
1995 年　鹿児島医療技術専門学校設立準備委員・教務主任（～1997）
1997 年　老人保健施設グラン・ベリテひわき統括責任者として勤務（～1999）
1999 年　視覚障害者養護老人ホーム土佐くすのき荘副施設長として勤務（～2001）
2001 年　鹿児島国際大学社会福祉学科介護福祉コース設立・教務主任（～2022）

2004 年　鹿児島県介護福祉士会会長（～2014）
2016 年　地域密着型通所介護事業所開設：理事長として現在に至る
2020 年　鹿児島県介護福祉士会会長として現在に至る
2023 年　特別養護老人ホームふれあいの街ねむの里施設長として現在に至る
保有資格：介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員

シンポジウム

テーマ　外国人留学生に対する国家試験指導のあり方

進行：　日本介護福祉士養成施設協会　副会長・九州ブロック代表理事
　　福岡介護福祉専門学校　学校長　小笠原　靖治　氏

シンポジスト：
　　元一般社団法人　国際交流＆日本語支援Ｙ　代表理事　橋本　由紀江　氏
　　平岡介護福祉専門学校　学校長　真子　菜穂子　氏

介護福祉士養成施設では、令和７年度に外国人留学生数が日本人学生数を上回るなど、外国人留学生が急増している。

国家試験の合格率を見ると、令和８年１月に実施された第 38 回介護福祉士国家試験では、新卒の日本人学生の合格率が 95.1%であったのに対し、留学生の合格率は 41.3%にとどまった。この差は大きく、養成校全体の合格率が 68.1%にとどまる要因の一つとなっている。

介護福祉士国家試験受験に関する経過措置は延期された。しかし、大学では令和６年度、短大・専門学校では令和８年度入学者は、卒業後５年以内に介護福祉士国家試験に合格しなければ、外国人は在留資格「介護」を継続できない。さらに、大学では令和 10 年度入学生から、短大・専門学校では令和 12 年度入学生から完全国家試験合格化される。そのため、養成校の存在意義や学生募集の観点からも、外国人留学生の国家試験合格率を高めることは急務である。

本シンポジウムでは、外国人留学生に対する国家試験指導に必要な取り組みについて、そのあり方について検討する。

プロフィール

元一般社団法人　国際交流＆日本語支援Ｙ　代表理事　橋本　由紀江　氏

・EPA の第1陣インドネシアの介護福祉士候補者の日本語教育を担当したことを
きっかけに、外国人介護人材の就労から国家試験までの学習支援を実施。
学習プログラム、テキストの作成、試験、研修の実施など、学習すべてに関わっている。

・経歴・資格等
　・日本語教育能力検定試験合格
　・元海外技術者研修協会（元 AOTS）日本語講師
　・経済連携協定により来日した介護福祉士候補者の学習支援を担当
　・2011 年　一般社団法人国際交流＆日本語支援Ｙを設立　代表理事
　　2026 年　2月　法人解散

平岡介護福祉専門学校　学校長　真子　菜穂子　氏
海外での医療支援（青年海外協力隊）や医療通訳（シンガポール）の実務経験を持ち、大学院では将来的な外国人受入を見据えた看護助手教育プログラムの構築を手がける。 多文化環境での実務と教育プログラム開発の経験を強みに、現在は介護福祉士養成施設の校長として、学校経営の視点から留学生の受入れや支援体制の構築を担っている。
現在、将来の福祉現場における「介護の質の維持・向上」を見据え、確実な専門知識と技術の定着を目指した国家試験対策の指導の強化に取り組んでいる。また、途上国での経験を活かし、単なる試験対策にとどまらず、学習環境の整備から日本語のフォロー、メンタルケアまで包括的な留学生支援を行っている。
保有資格：看護師

分科会内容

【第1分科会】

分科会テーマ	地域包括ケア・地域を支える介護福祉士を育てる
分科会要旨	令和7年7月 25 日の「2040 年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会において、全ての地域において、利用者等が適切に介護や医療等のサービスを受けながら自立して日常生活を営めるよう、地域の実情に応じた効果的・効率的なサービス提供体制を確保することが重要であるとされています。 そこで、地域包括ケアシステムを担う介護福祉士を養成するにあたり、地域の実情に応じたサービス提供体制をどのように学生に教授していけばいいのか、グループワークを通して介護福祉士の役割を疑似体験し、授業に活かせる情報を共有することのできる分科会とします。 ［目的］ ①地域の実情に応じたサービスを思考できる学生を養成するための情報を共有する。 ②研修で行ったことを持ち帰り、授業に活かす
分科会の構成	① 本分科会の趣旨説明 ・進め方、事例の提示 ② グループディスカッション ③ 沖縄地方で活躍する介護福祉士の姿 ④ まとめ（20 分）
その他	本分科会はグループディスカッションを中心に行います。 グループワークは、パソコンを使用しながら進めていきます。

【第2分科会】

分科会テーマ	外国人留学生を国家試験合格へ導くための支援 ～養成校だからできる実践と工夫～
分科会要旨	外国人介護人材の在留資格は「介護」「特定技能」「技能実習生（2027 年度より育成就労制度）」「EPA」と多種ある中で、介護福祉士養成校において、介護福祉士を養成し、介護の専門職としての質を向上させるうえで、国家試験の合格は不可欠な要件であると考えられます。2025 年度の国家試験からはパート合格制度が導入され、受験機会の拡充と負担軽減が図られています。 養成校では外国人留学生が日本人の在籍者数を上回る昨今において、外国人留学生の合格率が日本人と比較して伸び悩む現状がある一方で、質の高い教育や支援体制によって高い合格実績を挙げる養成校も存在します。先の国会において「経過措置延長」が一部条件変更付きで決定しましたが「経過措置延長」の措置に甘んじることなく、外国人留学生を国家試験合格へ導き全養成校が高い合格率を目指すことが、我々養成校としての使命であると考えます。 そこで、本分科会では、主に次のことを目指して皆様と意見交換ができる機会を設けました。 ＊ 外国人留学生が国家試験でつまずきやすい要因を理解できる。 ＊ 国家試験合格に向けた支援方法について共有することができる。 ＊ 各養成校において、明日からでも実践できる具体的支援のアイディアを得ることができる。 分科会の流れとしては、まず、外国人留学生への支援が体系的に整備され、国家試験合格率が高値である養成校（佐賀女子短期大学・麻生医療福祉＆保育専門学校福岡校）より、成功例として学習面や生活面などの具体的実践を発表していただきます。その後、成功例を基にしながらグループディスカッションを行い、まとめを行います。 まとめの中では、成功例として発表下さった養成校からの助言・アドバイスを得る機会も設けています。
分科会の構成	① 本分科会の趣旨説明 ② 外国人留学生支援に関する実践報告 ・佐賀女子短期大学（20 分） ・麻生医療福祉＆保育専門学校福岡校 （20 分） ③ グループディスカッション （50 分） ④ まとめ （20 分）
その他	本分科会への参加希望者へは、グループディスカッションを円滑に進めるために、事前にアンケートにご協力いただく予定です。

【第3分科会】

分科会テーマ	福祉防災を担う介護福祉士の育成 ～災害想定ゲーム「KIZUKI」で BCP を実践的に学ぶ～
分科会要旨	気候変動に伴う風水害や大規模地震など、自然災害が相次ぐ中、介護福祉士には、利用者の生命と安全を守りながら、限られた人員や物資、情報の下でも必要な生活支援を継続する力が求められる。そのため介護福祉士の養成教育においては、業務継続計画（BCP）を知識として学ぶだけではなく、「実際に災害が起きたら、自分はどう判断し、どう行動するのか」を具体的に考える学修機会を設けることが重要である。本分科会では、福祉施設における災害対応を疑似体験する災害想定ゲーム「KIZUKI」を用いた演習を行う。KIZUKI は、災害発生後に次々と生じる状況や課題に対して、参加者がグループで話し合い、「何を優先するのか」「誰が対応するのか」「限られた人員・物資・情報をどう活用するのか」などを考え、判断していく実践型の災害想定ゲームである。今回はさらに、令和 8 年熊本地震で実際に福祉施設が被災した経験と、そこから得られた教訓や課題を踏まえた演習として実施する。 災害時には、BCP に記載されている内容だけでは対応できない状況が次々と発生する。停電、断水、通信障害、職員不足、物資不足、利用者の状態変化、家族対応、地域や行政・関係機関との連携など、限られた条件の中で判断を迫られる。 令和 8 年熊本地震の実災害から得られた教訓と KIZUKI による疑似体験を通して、BCP・福祉防災・介護福祉士の専門的判断を結びつけ、「BCP を作る教育」から「BCP を使える人を育てる教育」へつなげることを本分科会のねらいとする。
分科会の目的	・自然災害 BCP と、災害時に介護福祉士に求められる役割・判断について、養成教育で扱う視点を整理する。 ・災害想定ゲーム「KIZUKI」を学習者として体験し、災害時に必要となる「気づき・判断・行動」を体験的に学ぶ。 ・令和 8 年熊本地震における実際の被災経験から、BCP と現実の災害対応との違いや課題を考える。 ・限られた人員・物資・情報の中で、利用者の生命・安全・生活を守るための優先順位を考える。 ・KIZUKI を授業・演習・実習指導に位置づける際の導入、問いかけ、振り返りの方法を検討し、教育活用案を具体化する。
分科会の構成	1. オープニングレクチャー（10 分） 研修のねらい、自然災害 BCP と養成教育との関係について説明。 災害想定ゲーム「KIZUKI」の目的、基本ルール、災害シナリオを説明。

	2. グループ準備・役割分担（10 分） 3. 災害想定ゲーム「KIZUKI」演習（60 分） 　災害発生。参加者には次々と新しい状況や課題が提示される。 4. 振り返り・教育に活用するための検討（15 分） 5. 発表・講評（15 分） 　令和 8 年熊本地震の被災経験を踏まえ、福祉施設の BCP を「作成して終わる計画」ではなく、訓練・教育・実践を通して継続的に検証するものとして捉え、介護福祉士養成教育への活用について総括する。
ゲストスピーカー プロフィール	寺西　貞昭（てらにし　さだあき）　氏 2000 年　介護業界に入り、高齢者介護の現場に従事 2013 年　NPO 法人「高齢者住まいる研究会」を設立、理事長に就任 2013 年頃～　社会福祉施設・要配慮者利用施設における防災・BCP（業務継続計画）の策定支援・研究活動を開始 2023 年頃～　災害想定ゲーム「KIZUKI」を活用した実践型の防災・BCP 研修を展開 現在　介護現場での実務経験を基盤に、全国の社会福祉施設を対象とした BCP 策定支援、防災研修、災害想定訓練等に取り組む 令和 8 年（2026 年）　熊本地震により熊本県御船町で被災。実際の被災経験を踏まえ、社会福祉施設における災害対応、事業継続、受援、オペレーション、ロジスティックスの重要性を伝える活動を展開 現在は、BCP を単なる「計画・書類」にとどめず、災害時に実際に機能する仕組みへ発展させる**「福祉防災 BCP3.0」**の構築と普及に取り組んでいる。 主な講師・研修等の実績 あいち・なごや強靭化共創センター　防災・BCP 関連活動 高知県　社会福祉施設等を対象とした防災・BCP 研修、災害想定ゲーム「KIZUKI」を活用した研修 川崎市社会福祉協議会　社会福祉施設等を対象とした BCP 研修、災害想定ゲーム「KIZUKI」、災害対策本部立上げ訓練等 ほか、全国各地において社会福祉施設の BCP 策定支援、防災研修、ワークショップ、シミュレーション訓練等を実施 保有資格：介護福祉士・介護支援専門員

【 鹿児島のご案内 】
鹿児島は、雄大な桜島と美しい錦江湾に囲まれた、歴史・自然・温泉・グルメが魅力の南九州を代表する観光地です。
おすすめ観光スポット
🌋 桜島
鹿児島のシンボルであり、現在も活動を続ける活火山です。フェリーで約 15 分で渡ることができ、展望所や足湯、ビジターセンターなどが楽しめます。
🌳 仙巌園（せんがんえん）
島津家の別邸として築かれた名園で、桜島を借景とした美しい庭園が見どころです。世界文化遺産関連施設としても知られています。
🗾 天文館
鹿児島最大の繁華街です。郷土料理や焼酎、ショッピングを楽しめます。
🏯 城山展望台
鹿児島市街地、錦江湾、桜島を一望できる人気の絶景スポットです。
🍴鹿児島グルメ
黒豚料理、鹿児島黒牛、きびなご、鶏飯（奄美）、しろくま（かき氷）、本格焼酎（芋焼酎が有名）
♨️温泉
指宿温泉（砂むし温泉）、霧島温泉郷、桜島マグマ温泉
など、個性豊かな温泉を楽しめます。

【公式】鹿児島県観光サイト かごしまの旅

鹿児島県観光サイト QR コード

【九州ふっこう応援割】　↓こちらも活用されてみてはいかがでしょうか。ご検討ください。
【2026 最新】九州ふっこう応援割まとめ！10 月 1 日開始、予約開始や利用方法を速報解説

九州ふっこう応援割 QR コード